

# 横山幸次

区政報告  
ニュース

300

2008年3月30日  
発行 日本共産党区議団  
3802-4627  
fax3806-9246  
E-mail: arajcp@tcn-  
catv.ne.jp  
町屋相談室  
荒川区町屋5-3-5  
3895-0504

日本共産党区議団  
ホームページアドレス  
[http://www.tcn-catv.  
ne.jp/~jcpara/](http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcpara/)

## 都と区が合わせて3800万円の補助金の返還命令 子ども犠牲の金儲けが許されるのか…区の責任重大

三月二十一日、東京都は、保育士の架空申請など違法行為を理由に、南千住駅前の「じゃんぐる保育園」の認証取り消し、都と区合わせて3800万円の補助金返還命令を出しました。

こうした事態は、〇六年六月開園以来、ずっと続いてきたようです。また階段が急勾配、狭すぎる幅など基準外にもかかわらず区が「推薦」、都も「区の推薦がある」として認証したのです。その責任

## 企業立認証園で「一食三十六円」の保育給食 儲けのため子どもの「食」まで犠牲にする実態も

この問題は、荒川区議会と都議会でも日本共産党が一貫して追及。規制緩和で保育所運営に「営利企業」参入が許された中で起こりました。他区のある営利企業運営の認証保育所（共産党都議団調べ）では、給食一食当り三十六円といた事例も。いったい何を食わせているのでしょうか。食べさせているのでしょうか。

## 日本共産党区議団が緊急申し入れ 取り消しに伴う在園児の対応は責任で

この事態を受け、日本共産党区議団は、区として最低限現在の在園児について区の責任で保育を実施することなど緊急に申し入れました（全文



「認定」取り消し当日、取材に集まったカメラクルー

裏面 区政、区議会情報など

## 定例法律相談

4月7日(月)  
午後6時～8時  
横山区議事務所

【定例生活相談会】  
毎週水曜日 午後2時から5時  
会場は、横山区議事務所です。

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介しますので、お気軽にご連絡ください。  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ、後で連絡します。

## 荒川二丁目の都営住宅跡地を区が購入へ 貴重な公有地に何をにつくるのか、区民からも意見を

以前もご紹介した荒川二丁目都営住宅の跡地(2300㎡・仁風保育園そば)を区が購入することが明らかになりました。私も評議員をやっている荒川区の土地開発公社の新年度予算に盛り込まれていました。(公社が購入してその後区が買い取る…少しわかりにくい仕組み…)

問題は、何に使うかです。狭い荒川区内では、貴重な公有地です。先の議会では、自民党が「荒川区書館建替え用地」などの質問も。また木造密集地が荒川区では、代替地としての活用、福祉施設、やはり都営住宅…などなど多くの事例が考えられます。みなさんもこれだけの土地を区民のために使うとすると、様々な用途が浮かんでくるのではないのでしょうか。



肝心なことは、区民の声と切実な願いを行政がしっかりとつかんで具体化することです。横山幸次

# 「じゃんぐる保育園」の認証取り消し 企業参入の「保育」に大きな問題…

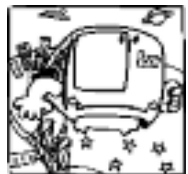


# まちづくりを考える…2

## 環境・公共交通を柱にすえた まちづくりがこれからは必要です！

### 高齢化社会、福祉など視野に入れた 都市交通政策の具体化が急がれます

最近、中山間部でバス路線の廃止などで高齢者が病院にも行けないなどの報道何度か見ました。これは都市部でも同じです。私たちは住む地域を考えても、高齢者が歩いて移動しやすいとされる二百㍓圏域に公共交通機関がない空白地域が存在します。もちろんバリアフリーもです。



### 都電、自転車、コミュニティバスなど… 環境と人にやさしい交通手段でまちづくり

区は、「環境交通のまちあらかわ」というビジョンを出しました（左写真）。汐入地区を重点地域にしていますが、全域共通だと思いません。

特に、自動車排ガスなどによる大気汚染から地球環境まで考えに入れなければなりません。荒川区だけで何とかなる問題で

はありますが、環境にやさしい地域交通資源…都電、自転車（かつての地場産業）、コミュニティバス、加えて水上交通などを柱にした交通体系を生かした「まちづくり」が必要なのではないでしょうか。



最近、「都電荒川線 散策マップ」（上写真）が発行されました。三ノ輪橋から早稲田まで全域をカバー。一度手にとって身近な都電と地域を再発見する「小さな旅」に出かけてはいかがでしょうか。  
【問い合わせは、区の観光振興課まで】

## 区政トピックス…

### 区があらかわ遊園事故の調査報告発表…業務再委託など問題はなかったか

3月25日に報告では、事実経過と改善策、緊急安全対策や区の監督指導の強化、利用者などのチェックを打ち出しました。この施設は、ACC（地域振興公社）が指定管理者として管理運営していますが、遊具の管理運営業務をN鉄工所に委託、そこからさらに協力会社のK社に再委託していることが気になります。今回、区の所管課の監督指導強化をあげているようですが、本来当たり前前のことです。全面的な問題点の解明と改善を行うなら管理運営形態自身にもメスを入れるべきではないでしょうか。いずれにしても「安全で楽しく遊べる」遊園地に早くするために区の責務を果たすべきです。



### じゃんぐる保育園認証取り消しについて 日本共産党区議団の緊急申し入れ

荒川区長 西川太郎 殿

#### 東京都による「じゃんぐる保育園」の 認証取り消しに関する緊急要望

東京都は、3月21日午後3時の知事記者会見で「じゃんぐる保育園」（（株）日本保育支援協会）の認証の取り消しを発表しました。

こうした事態をまねいた責任は、第一義的に認証した東京都にあることは明らかです。同時に、最初から階段などが基準を満たしていないにもかかわらず、区として「推薦」しお墨付きを与えた責任も重大です。区としても厳正な対処を速やかに行うべきです。

同時に、今後子どもたち保育に重大な影響を及ぼすことも懸念され、また荒川区の保育に対する保護者の不安も広がっていくとも懸念されます。そのため、緊急に区として以下の対策を実施するよう強く求めます。

記

- (1) 都と連携し、父母、保育従事者に必要な説明と対応を行うこと。
- (2) 「じゃんぐる保育園」在園児の新年度保育実施を区として責任を持って対応すること。
- (3) (株)保育支援協会に対して、補助金の返還はじめ厳正に対処すること。

2008年3月21日 日本共産党荒川区議会議員団